

# 平成28年度 学校関係者評価報告書

学校法人有坂中央学園 中央工科デザイン専門学校

## 学校関係者評価委員会

学校法人有坂中央学園 学校関係者評価委員会は「平成28年度自己点検・自己評価報告書」の結果に基づいて学校関係者評価を平成29年3月22日に実施したので、下記のとおり報告します。

### 1. 学校関係評価委員

- 業界関係者: 松本 州史(東京理器株式会社)
- 業界関係者: 宮野 知代(デザインオフィス絵組)
- 業界関係者: 矢島 達也(クシダ工業株式会社、同窓会会長)
- 業界関係者: 森井 勝利(群馬漫画連盟 会長)
- 卒業生: 石川 直哉(欠席)
- 保護者: 吉田 美由紀(欠席)

### 2. 平成28年度自己点検・自己評価における学校関係者評価

評価項目	評価	評価に対する今後の学校の取組
1. 建学の精神・教育理念・教育目的・教育目標	<ul style="list-style-type: none"><li>●教育理念・目標を定め、学生に対して周知徹底を図り、社会のニーズに対応した社会人の育成に努力している。</li><li>●教育目的・目標を定め、学生や保護者等に対して、シラバスや学園新聞等を利用して情報開示、情報共有している。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>○教育理念や目標は学生生活の手引きに記載し、学生に配布することで周知徹底を図っている。今後はクラス目標や学園標記などをクラス掲示する等行い周知を図りたい。</li><li>○保護者等に対し、学校への理解をより一層深めてもらうため、年間行事スケジュールやシラバスの情報などを、情報開示ガイドラインに沿ってホームページ等で開示していきたい。</li></ul>
2. 教育の内容	<ul style="list-style-type: none"><li>●授業改善の取り組みが行われ、結果に基づく改善を進めている。 特に授業参観については、外部に向けた公開ができるようになれば良い。(宮野)</li><li>●リメディアル教育としてあらかじめ検定・資格試験対策として計画・実施している。</li><li>●プロの業界をよく知る非常勤講師による授業が多数あり、座学だけでなく現場を意識したカリキュラムが組まれている。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>○授業公開と改善の一環として、職員同士の授業見学を始めた。また、授業時間ごとのシラバス作成を29年度から始めた。</li><li>○リメディアル教育として、物理基礎や検定対策をカリキュラムに取り入れており、今年度は基礎数学の科目を取り入れた。</li><li>○学生の授業態度や授業内容、業界のトレンド等の意見交換を頻繁に行えるようにするため、非常勤講師との交流会を年に2回行うようにしたい。</li></ul>

評価項目	評価	評価に対する今後の学校の取組
3. 教育の実施体制	<p>●国家試験合格率やこれまでの長年の実績から教育水準は高いと考える。</p> <p>●整備された図書室や画材室があり、学生が利用できる参考図書や関連図書が備えられている。学生作品もアーカイブとしてすぐに見られるようにしては。(松本)</p>	<p>○定められた教育内容(知識、技術の修得)に重点を置きながらも、業界・社会が求める実践力を持った社会人を育成するための方策を常に検討していく。</p> <p>○職員からの寄贈等を募り、参考書や関連図書を増やし、学生の学習意欲を高めていきたい。学生作品についてはポートフォリオやDVDを少しだが置き始めた。</p>
4. 教育目標の達成と教育効果	<p>●全国平均を上回る試験合格率であり、学習成果は高水準をキープしている。試験結果が分かる一覧資料があるとなお良い。</p> <p>●作品制作技術の向上、制作ソフト等の操作理解を目的に、コンテストへの出品に取り組んでいる。</p> <p>●卒業生の就業状況の把握ための取り組みをしている。</p> <p>●学園祭、卒業制作展において学生作品の発表をしているが、作品のボリュームが足りないように感じる。(森井)</p>	<p>○引き続き試験全員合格を目指していく。結果一覧資料については、フォームを検討し、まずは28年度データで作成する。</p> <p>○多数のコンテストに出品し、賞を頂くことができた。1年間の結果の良し悪しを判断する基準を数値化し一表にまとめた。この表を毎年作成し、指導基準の参考としたい。</p> <p>○29年度も7月に学園新聞を卒業生宛に送るため就業状況アンケートを送り、状況把握を行う。また、回答率向上のため郵便での返信に加え、Web を使った返信も検討する。</p> <p>○各企画において新作を展示するよう運営をしていたが、次回からはコンテスト、産学官連携、授業、などで制作した作品もブース分けをして展示をしたい。</p>
5. 学生支援	<p>●キャリアサポートとして、卒業生への職業紹介をしていることは評価できる。</p> <p>●学校と連携している企業等から、学校運営や指導方法、カリキュラム等、様々な意見を頂き、取り入れている。</p>	<p>○ホームページ等を通じて、卒業生、保護者とのコミュニケーションを密にしたい。その為のHP改善も計画中である。</p> <p>○企業等と連携して授業を行う中で、企業の方から、業界就職のための技術、考え方、姿勢等、個々の学生に伝えてもらっている。全体周知できる意見は伝えていきたい。</p>
6. 社会的活動	<p>●地域活動や地域貢献、ボランティア活動への取り組みが進んでいる。学外で活動する学生もいる。</p> <p>●社会的活動を評価・単位認定するシステムを作る必要がある。</p>	<p>○ボランティア活動の記録が不十分であるので、計画及び記録を適切に行い、公開できるものはしていきたい。</p> <p>○社会活動を認定するシステムとして、次年度からレポート等の提出で評価できるよう進めたい。</p>

評価項目	評価	評価に対する今後の学校の取組
7. 管理運営	●専修学校各種学校の規定に則り、適切に運営が行われている。	○教育成果を含めた具体的な学校情報を公開することで学校への理解を促進していく。
8. 財務	●財務体質が健全であり、適切な財務運営が行われているが、厳しい学生募集による、財務基盤の弱体化の恐れがあるため、学生の退学防止、経費節減等に力を入れている。 ●図書管理規定を文書化し、より分かりやすく体制を作っていく。	○外部監査による健全な学校経営を維持するとともに、募集活動の強化、退学率の低減、経費節減に努める。  ○学生の長期休暇をめぐりに進めていきたい。
9. 改革・改善	●法令を遵守し、自己点検・自己評価を行うと共にそれらの情報を公開している。	○職員による自己点検の結果項目のチェックと、教師アンケートの集計結果を加味して、点検を行う必要がある。自己点検のガイドラインに沿った評価をし、点検の質を高めていくよう進める。

※上記、「評価」の列は学校関係者評価委員による評価を記載。個人での発言があった評価は文末に個人名を記載。評価委員の総意を頂いた評価は、個人名での記載はしていない。

### 3. 総評

上記9項目に対し、委員による評価は良好であったことから、有坂中央学園中央工科デザイン専門学校の教育活動、学校運営は概ね高い水準で維持されていると評価され、引き続き実践的な教育の整備並びに学生の学力向上に対する取組と時代に即した教育の質の向上を図ることが望まれる。しかし、これらの取り組みが効果的に学外に情報開示されていない面が散見され、今後の努力が求められるところである。

その他、かわせみ祭(学園祭)、卒業作品展での作品の展示方法についてのご意見や、資格・検定試験の結果一覧の作成提案、卒業生就業状況アンケートの回答率向上のための手法等、様々なお話しを頂くことができたので、これらの案を参考に改善を検討していきたい。

全体として学校の教育活動、学校運営について問題はなく、引き続き取り組みを進めることが求められるが、この取り組み状況を外部へ効果的に発信する力を高める努力が今後も求められるところである。

以上